

出版情報

書名・件名	厚生白書(平成4年版)
副書名	皆が参加する「ぬくもりのある福祉社会」の創造
編集者・監修者	厚生省
所在地	東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
国名	日本
郵便番号	100-0013
発行日	平成5年3月27日発行
I S B N	

厚生白書の刊行に当たって

平成4年版厚生白書をここに公表いたします。

厚生行政は、健康と福祉という国民生活に直結する重要な分野を担っています。我が国は、いま、世界一の長寿国となり、世界でも未だ経験したことのない超高齢社会を迎えようとしています。こうした中で、国民一人一人が真の豊かさを実感でき、生きがいをもって暮らせる社会を実現するため、常に国民の皆様の立場に立って、厚生行政を推進していきたいと考えています。

昭和58(1983)年から平成4(1992)年までの期間は、国際連合の定めた「国連・障害者の十年」でした。平成5(1993)年からは、「アジア太平洋障害者の十年」が始まります。

今回の白書では、この「国連・障害者の十年」をテーマとして、障害者の状況を紹介するとともに、この十年間の障害者施策の進展を、障害者を取りまく環境の変化という視点から振り返ってみました。また、今後の障害者施策の方向として、障害者の参加、国民の参加及びまちづくりという3つの視点に立った、「皆が参加する『ぬくもりのある福祉社会』」を創造していくことを提案しています。

本白書においては、関係省庁及び各都道府県・指定都市の障害者福祉担当課長、関係の障害者団体及び障害者ご本人から寄せられたコメントを掲載させていただきました。厚生省はもとより政府、地方公共団体が力を合わせ、そして国民の幅広い共感と参加、障害者本人の力強い参加の中で、障害者が生活しやすい社会づくりをめざしていきたいと考えています。また、今回の白書では、最近とみに深刻さを増してきているエイズ問題について、特に一章を設けて、エイズ総合対策の現状をご紹介しますとともに、今後の課題もお示ししています。

この白書が、広く活用され、厚生行政について国民の皆様のご理解とご協力をいただくための一助となれば幸いです。平成5年3月 丹羽 雄哉 厚生大臣
